



鳥取県は、次世代のものづくり人材の育成を目指し、AIをはじめとするデジタル技術を活用して生産現場の高度化や新しいものづくりを実現する素地を身に着けた高校生を「スーパー工業士」として認定する制度を設けています。

スーパー工業士を目指せ！

コンピュータやネットなどデジタル技術を活用した産業が拡大し、その収益性が高いことから、これからの仕事にはデジタル技術の活用能力が欠かせない状況にあります。その能力の有無は収益に大きく影響していることが周囲の状況からもひしひしと感じます。

あらゆるものづくりの分野でも、ただモノをつくるだけではなく、デジタル技術を活用してその使い方でセットにした付加価値を高めたものづくりを提供することが、利益を生み、持続可能なものづくりを実現することにつながります。そのためにも、工業高校生のみなさんには「スーパー工業士」の制度を活用して学びを深めて欲しいと考えます。

【スーパー工業士認定制度の概要】

- (1) 対象者 県内の専門高校の工業科に所属する生徒
- (2) 実施期間 2年生2学期～3年生1学期
- (3) 認定時期 3年生の夏
- (4) 認定後の支援 関連資格取得費用の助成、
鳥取大学工学部との連携によるキャリア形成
- (5) プログラム内容

- ・システムの基本的な構成要素やシステムを設計するための視点・考え方など
- ・社会におけるデータ・AI活用、データリテラシー、データ・AI活用における留意事項
※オンライン学習動画プラットフォーム「Udemy」の講座を活用
- ・鳥取大学工学部によるマイコンを使ったAI実装演習

- (6) 鳥取県からの説明サイト <https://www.pref.tottori.lg.jp/310528.htm>

希望する生徒の皆さんを対象に次の日程で説明会が開催されます。関心のある人は6月23日（金）までに担任の先生に申し出て参加し、このプログラムに応募するかどうか検討してみてください。

>> 説明会日程 令和5年7月3日（月）午後4時～5時15分 <<

校長 松川 明義



【行事予定】22日(木)：1年歯科検診
23日(金)：情報技術検定
26日(月)：頭髮服装指導
週末の大会 弓道部 中国大会 出雲

